

やまと eco リサイクルセンター、クリーンセンターを見学

10月28日午後、天理市にある新ごみ処理センターを見学しました。村木さん（天理市議）に先導をお願いし、計10名が参加しました。

この新ごみ処理センターは、奈良県下の10市町村（大和高田市、天理市、山添村、三郷町、安堵町、川西町、三宅町、上牧町、広陵町、河合町）でごみ処理施設の設置及び運営等を共同で行うことを目的として設立した一部事務組合「山辺・県北西部広域環境衛生組合」が運営しています。2025年5月に事業開始しました。

やまと eco リサイクルセンターから見学を始めました。

管理棟1Fで10数分の映像を見て事前勉強し、ガイドさんの案内でタブレットを持って工場棟3Fへ上がりました。ここからは作業内容がよく見えます。受け入れたごみ（不燃物、粗大ごみ、プラスチック、ペットボトル、ビン、缶・・・）をコンベアで3Fまで上げ、袋の破碎除去、選別、破碎、圧縮梱包等を行い、処理業者へと搬出します。工場というだけあってたくさんの機器が動いていましたが、人間の手でしか選別できない工程があるようで、ベルトコンベアで流れる選別作業を見ていると、チャップリンの「モダンタイムズ」を思い出しました。AIの利用で機械化できないのでしょうか。



ごみでつくったオートバイ



まさに工場！



受け入れヤード



手選別コンベヤ



見学の様子

次に、やまと eco クリーンセンターへ行きました。

工場棟3Fに上がると、コミュニティ・ギャラリー、万葉360°シアター等がある広いフロアで、読書や休憩ができます。

ここの窓から施設を見学します。ごみ収集車がごみピットへごみを投入、ピットに投入されたごみをクレーンで攪拌してごみ投入ホッパーへ、焼却炉で焼却、焼却灰や排ガス中のばいじん等を最終処分場へ、焼却により発生した熱を利用して発電、それらを24時間、ほぼ毎日監視・制御する中央制御室を見学しました。

4Fには温浴施設、フィットネスフロア（無料）があり、5Fには展望フロアがありました。ここは高台にあるため、奈良盆地が一望でした。



ごみ処理施設は巨大な工場、たくさんの機械装置と人間が働いていて、巨額の税金が使われています。削減、再利用、再資源が重要だと再認識しました。

見学、学習の施設が充実しています。現場をリアルに見られるほか、専門のガイドの配置、映像、図書も充実していました。

10市町村の住民でなくても誰でも、勉強して、休養して、風呂・フィットネスを利用できます。



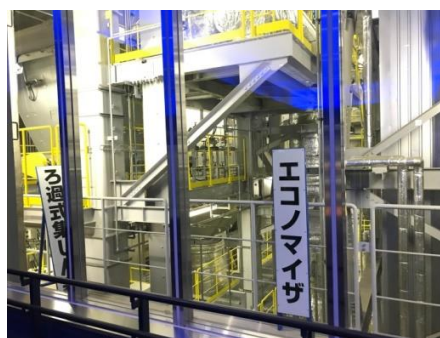
巨大なクレーンでごみを攪拌し、運びます。左に25、30の数字、これはピットの高さです。



中央制御室



蒸気タービン発電機



エコノマイザー、ろ過式集塵器



展望フロア